

## 事業実施計画書

- 1 事業の名称  
**〇〇作業を自動化する〇〇装置の実証開発**

- 2 申請者の概要

申請者の名称	<b>A工業株式会社</b>		
代表者の役職・氏名	<b>代表取締役 岐阜 県太</b>		
所在地	<b>〒〇〇〇-〇〇〇〇 岐阜県〇〇〇〇〇〇〇〇</b>		
資本金・出資金	<b>〇〇〇〇千円</b>		
従業員数	<b>〇〇人</b>		
業種及び主たる事業	<b>生産用機械器具製造業（金属工作機械用・金属加工機械用部分品・附属品（機械工具、金型を除く））</b>		
HP アドレス	<b>http://a-industry.co.jp/</b>		

「産業中分類」を参考に記載してください

## 【担当者の連絡先】

役職・氏名	<b>営業担当 岐阜 県一郎</b>		
電話番号	<b>〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</b>	FAX 番号	<b>〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</b>
e-mail アドレス	<b>gifu-kenichiro@a-industry.co.jp</b>		

- 3 事業の概要

事業の概要 (300字以内)	<p><b>本事業は、B大学の技術シーズ「〇〇〇〇」を活用し、〇〇分野における〇〇部品の製造を高度化させる設備開発である。</b></p> <p><b>従来、〇〇装置における〇〇製造において、人手で行われてきた〇〇作業をロボットに代替させることにより、作業のバラツキを抑えつつ、省力化・省人化をはかり、部品製造コストの削減につなげる。</b></p> <p>.....</p>		
実施場所（住所）	<p><b>A工業株式会社 敷地内</b>  <b>（〒〇〇〇-〇〇〇〇 岐阜県〇〇市〇番地）</b></p>		
技術シーズ・開放特許等	技術の名称等	<b>〇〇に関する技術</b>	
	提供者	<b>B大学〇〇学部 〇〇教授</b>	
	概要	<p><b>人手で行われてきた〇〇作業をロボットで実施するため、作業を〇〇工程と〇〇工程に分離し、〇〇システムと〇〇システムを開発して連携させることにより、〇〇作業の自動化を実現した。</b></p> <p><b>●●学会論文集 Vol.** No.** pp.***-**** 『●●●に関する研究』（別添）</b></p>	
	実施に関する承諾	<p>技術シーズ・開放特許等の所有者・機関との実施に関する調整状況          （該当するものにチェック）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 調整済    <input type="checkbox"/> 2. 現在調整中    <input type="checkbox"/> 3. 調整なし</p>	

#### 4 事業実施内容

目的	<p>当社はこれまで、〇〇などの〇〇〇分野の部品等の製造を行ってきた。</p> <p>少量多品種生産を高品質で安価に行うことが求められる〇〇〇分野において、その要求に応えるためには、・・・・・・が不可欠である。これを実現するため、B大学の技術シーズ「〇〇〇」を〇〇装置に適用し、〇〇の実現を図る。これにより、・・・・・・。</p>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇部品の製造の省力化（現状から〇〇%削減） 試作機を現場実証実験で評価</li> <li>・ 〇〇部品の加工時間の短縮（現状〇〇個/時間 → ◆◆個/時間） 試作機を〇〇試験で評価</li> <li>・ 〇〇部品の不適合品の削減（現状〇〇個/1万個 → ◆◆個/1万個） 試作機を〇〇試験で評価</li> </ul>
実施内容	<p>上記目標達成のために、〇〇部品製造における工程に〇〇システムを導入する。</p> <p>システムの基本設計においては、技術シーズを保有するB大学の協力を得て、・・・・・・。</p> <p>システムの試作・実装のため、〇〇が可能な〇〇装置に外部取り付け付加装置として〇〇システムを付加することで機能を実装する。</p> <p>試作したシステムの評価のため、〇〇装置を有しているC技術センターの協力を得て、・・・・・・を行う。</p> <p>試作したシステムの課題を洗い出し、更なる改良を加えるため、・・・・・・。</p>
実施体制	<p>(1) A工業株式会社（実施場所：岐阜県〇〇市〇〇〇 担当 岐阜 県一郎）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇に強みを持っていることから、それを活かし・・・・・・を行い、また、・・・・・・を行う。</li> </ul> <p>(2) B大学（実施場所：〇〇県〇〇市〇〇〇 担当：〇〇 〇〇教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇の経験を有していることから、それを活かし・・・・・・を行う。</li> </ul> <p>(3) C技術センター（実施場所：岐阜県〇〇市〇〇〇 担当：〇〇 〇〇研究員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇を評価するための〇〇装置を保有していることから、それを活かし・・・・・・を行う。</li> </ul>
スケジュール	<p>別添事業スケジュール表のとおり</p>
波及効果	<p>本事業で試作・効果検証した〇〇システムは、可用性・耐久性の検証を進め、実用にむけた改善を重ねたのち、現場に実装する予定である。</p> <p>現場では、〇〇システムにあわせ作業環境を最適化することにより、〇〇製造における装置占有面積が削減される。また〇〇システムは、〇〇にも随時適用可能であり、また稼働状況に応じて柔軟にラインを変更できるため、現場のフレキシビリティ向上につながる。これにより、少量多品種生産を高品質かつ安価に実施することを求めるステークホルダーからの期待に応えることができる。</p> <p>さらに・・・・・・。</p>

※他の補助金又は委託金等の交付がある場合は、その概要および本事業との相違点を添付すること。（申請中の案件を含む。）

※枚数制限はありませんので、様式の枠の高さを適宜調整し、図表等も活用して分かりやすくご記入ください。



6 経費明細表

経費区分		A		B	B×1/2 以内	積算基礎 (A. 税込)
		補助事業に要する経費		補助対象経費 (税抜)	補助金 交付申請額 (税抜)	
		(税込)	(税抜)			
機械装置費	(単価 50 万円以上)	4,400,000 円	4,000,000 円	4,000,000 円		〇〇装置 @3,300,000 円×1 台 3,300,000 円 〇〇システム @1,100,000 円×1 式 1,100,000 円
	(単価 50 万円未満)	220,000 円	200,000 円	200,000 円		〇〇装置制御用 PC @220,000 円×1 台 220,000 円
設備等開発費		660,000 円	600,000 円	600,000 円		〇〇試作用部材 @55,000 円×20 個 110,000 円 B 大学共同研究費 @550,000 円×1 式 550,000 円
評価検査費		220,000 円	200,000 円	200,000 円		〇〇試験 @220,000 円×1 式 220,000 円
合 計		5,500,000 円	5,000,000 円	5,000,000 円	2,500,000 円	
					2,500,000 円	千円未満を切り捨てた額を記入

- (注1) 補助事業に要する経費欄、補助対象経費欄及び補助金交付申請額欄を必ず記入すること。また、未使用費目は削除して行を結めること。
- (注2) 設置施設の整備工事や基礎工事については、補助対象として認めない。
- (注3) 経費区分ごとに、事業に要する経費、補助対象経費、積算基礎(名称、積算明細(@単価(消費税等込み)×数量=金額(消費税等込み))を記入すること。金額については、見積書、価格表等による正確な金額を記載すること。
- (注4) 合計のみではなく、経費区分ごとに記載すること。
- (注5) 「補助事業に要する経費」とは、当該事業を遂行するために必要な経費を意味し、ここでは消費税を加算した税込み金額と消費税を抜いた税抜き金額を併記すること。
- (注6) 「補助対象経費(税抜)」とは、「補助事業に要する経費(税込)」のうちで補助対象となる経費について、消費税を差し引いた金額を記載すること。
- (注7) 本事業で使用する汎用性があり目的外使用になり得るもの(例えば、事務用のパソコン・プリンタ・タブレット端末・スマートフォン及びデジタル複合機など)については「補助事業に要する経費(税込)」となるが、補助対象外であるため、「補助対象経費(税抜)」にはならない。
- (注8) 「補助金交付申請額(税抜)」は、「補助対象経費(税抜)」のうちで補助金の交付を希望する額で、その限度は、「補助対象経費」に補助率(1/2)を乗じた額(1円未満は切捨て)をいう。
- (注9) 経費については、千円未満を切り捨てず円単位まで記入すること。ただし、補助金交付申請額の合計は千円未満を切り捨てた額を記入すること。

(別添)

事業スケジュール表

番号	実施項目	実施主体	2025年度									各実施項目における 成果のイメージ
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
①	基本設計、詳細設計	A工業(株) B大学	◆→									設計図面の完成
②	試作	A工業(株)		◆→								試作機の完成
③	性能評価	C技術センター					◆→					試作機の課題の抽出
④	改良試作、評価試験	A工業(株) C技術センター						◆→				改良試作機の完成
⑤	現場試行、評価実験	A工業(株)							◆→			〇〇技術の確立
⑥	まとめ	A工業(株)								◆→		報告書の完成

※開始時期の早い順に記載すること。

※必要に応じて行を追加・削除すること。